



# 通信

電話048-480-4150

2020年10月31日発行

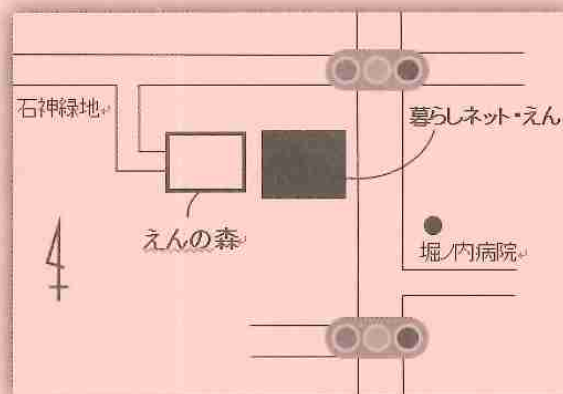
## 新座市基幹相談支援センター開設

10月1日より、新座市からの委託を受けて

『新座市基幹相談支援センターえん』を開設いたしました。



障がいがある方やその家族などの総合相談窓口で、必要な支援を一緒に考えたり、成年後見制度の利用や虐待防止の取り組み、入所施設や精神科病院から地域での生活へ移るお手伝いなど、多様な支援を行う機関です。おなじみの『高齢者相談支援センター』の障がい児・者向けの役割を持っています。開設スタッフは写真の5人、皆さまのご相談をお待ちしております。



新座市基幹相談支援センターえん  
新座市石神2-1-4  
TEL 048-456-6051



## えんのスタッフたち

いつもならこの季節は、ブドウ狩り、『みんなのコンサート』、ヤキイモタイムなどお楽しみの行事が目白押しですが、今年はどれも中止か縮小、寂しい秋です。

世の中は『Gotoキャンペーン』とかでコロナウイルスはどこかに行ったかのような賑わいですが、介護の現場はそうはいきません。2月末以来、「感染しない、感染させない」を合言葉に働き続けています。フランスなどでは再度外出制限が始まったと言いますが、日本もまだまだ気が抜けない状況です。とはいえ、あまり思い詰めてもよくない。適度な息抜きをしながら、収束の日まで心身の健康を保ちましょう。

今回は職場としてのえんについて少し。介護保険と障がい者福祉サービス、配食サービス、今年度後半から基幹相談支援センターも加わって、職員総数は100名を超えます。20代から70代まで、介護職員、看護師、理学療法士、ケアマネジャー、相談支援員、栄養士、調理師、ドライバー、事務、こうやって並べてみると多職種です。働く時間もフルタイムから週に数時間の有償ボランティアまで。子どもが小さいうちは短時間、だんだんに増やして10年後には責任あるポジションになるというパターンは少なくありません。シングルマザー、シングルファーザー、最初から介護職を目指した人、全くの異業種から来た人、定年後に資格取得して短時間働く人、30年前にボランティアグループを立ち上げたときからのメンバーから、入って半年の人、いろいろな意味で多様な人の集まりです。

入職は職員が知り合いを紹介してというケースが最も多いのですが、最近では大学や専門学校の新卒で入ってくるスタッフも。教育方針というほどのものではありませんが、「じっくり育ててもらおう」というのがえん流です。認知症グループホームに採用された場合、夜勤を1人で担当するまでには、未経験採用の場合は短くても半年はかけています。訪問介護は、ひとり立ちで利用者宅を訪問するまでに1か月間は先輩職員と同行して勉強してもらいます。法人全体・事業所ごとの研修(介護実技、制度学習等)、ミーティングは何より大切にしてきました。

えん通信で3号続けて「国会集会」等の参加報告が載っています。若手の職員に積極的にこのような場に出てもらい、近い将来に介護の現場から発信できるように育てたいという気持ちからです。この辺は他の事業所にはない特徴ですね。

今どき定着率がとても高いところを見ると、代表の私が言うのも何ですが「悪くない職場」と自負しています。

(代表理事／小島美里)



## 私たちの声よ、届け



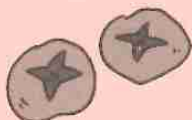
9月15日、安倍政権から菅政権へ移行した記念すべき日に、私は初めて衆議院第二議員会館へと足を踏み入れました。これから勉強をしに行くのに、久しぶりに乗る電車や初めて降りる永田町駅、会館へと続く地下通路に、気分はすっかり修学旅行でした。

この日は、来年4月より改定される予定の省令について、意見交換がなされました。現在、要支援の方々の訪問・通所サービスは、介護予防・地域支援総合事業という枠組みで提供されています。介護保険のサービスは全国一律ですが、こちらは自治体の事業で、担当するヘルパーは2、3日の研修を受けただけで良く、団体の責任者にも介護の資格は求められません。それを要介護にまで広げようという準備が進められています。厚生労働省の担当者は、「地域とのつながりの継続を可能にする」、「あくまでも希望がある場合」とメリットを述べていました。しかし、説明や答弁を聞けば聞くほど、「改正ではなく、改悪なのでは？」と言いたくなるものでした。利用者へ提供されるサービスの複雑化、総合事業サービス専門ヘルパーの絶対的な不足など、問題点を挙げればキリがありません。

始めは話について行くのに必死でした。ようやく理解が追いついてきた頃、小島代表が「なぜ今この改定をするのか。コロナ禍で総合事業は一般の介護保険サービスに比べ休止が多い。総合事業単独の事業所は感染症対応の知識も浅い。現場のことを全然分かっていない」と発言しました。持参したノートに一言「怖いな」と書いていました。政策を立案する担当者が介護現場を知らないこと、私の知らないところで現場の混乱を招きそうな改正が進められていたこと、あらゆるものが「恐怖」に感じたのです。「恐怖」を「安心」に変える鍵は、まずはお互いを「知ること」だと思います。参加された厚労省担当者のひとりが「ぜひ見学に行きたい。」と言われたそうです。その言葉や今回のような意見交換の場があることを前向きに捉え、「知る努力」と「知ってもらおう努力」をしていきたいと思いました。

帰路、小島代表は、「変わらないとしても、黙って『改悪』を見過ごしてはいけない。少なくともブレーキをかけようとした痕跡はのこさなければ」と話していました。私も「改悪」に気づいたら「それは良くない！」と言えるよう、そして高齢者の皆さんが安心して生活を継続出来るよう、ますます仕事と勉強を頑張ろうと思えた日でした。

(ケアサポートえん・多機能ホームまどか／遠野瑞穂)



# 特定相談支援事業所

## ケアプランえんのスタッフです

地域で共に生きる仲間として当たり前のできることを支えたい！  
プランはお任せ！あなたにとっての一步をお手伝いします！



7人の頼もしい仲間  
支えられながら只今  
奮闘中デス♪  
(管理者/岡田博美)



16年目の新人です！  
よろしくお願いします♡  
(初澤郁子)



ペットにいやされ  
頑張ります！  
(安田美子)

健康一番、笑がお一番、えん  
二番、今日も走ります。  
(菊池とみえ)



いつも笑顔で気持ちよく♡  
(奥村ひろ美)

一番大切なことは何か考  
えながら学習しています。  
よろしくお願いします。  
(須貝恵子)



一緒にお仕事をする仲間が増え  
て気付かされる事も多いです。  
石橋を叩き過ぎて渡れない時  
もあるので、自分を振り返りつ  
つ頑張りたいと思います。  
(江幡洋子)



## 管理者交代

この度、管理者となりました西本由美子と申します。45歳、趣味はロックバンドのLIVEと飲み歩きに神社仏閣巡り(現在、自粛中…泣)。大阪生まれの大阪育ち、バリバリの関西人です。

初代スーパー超人管理者加藤真弓(現ケアプランえんケアマネジャー)の時代にヘルパーとして入職し、17年目に入りました。はじめは右も左もわからないヒヨッコで、先輩方に時には優しく、時には厳しく育ててもらい、また数々の利用者さんに関らわせて頂きながら、立派とまでは言えないまでも、成長させて頂くことができました。

数年前より、いずれは管理者にというお話しはありましたが、聞かないふりをしたり、運気が悪い年だからと逃げ回っていたのですが(笑)、今回は覚悟を決めました。

指導力・包容力・人情の厚さとタフさとを兼ね備えた(なのに天然!)2代目管理者岡田博美の背中が見られるうちに、「えんらしさ」を作り上げてきた先輩方たちのいるうちにとバトンを渡されました。次の世代を担う若いスタッフたちも含め、私には信頼できる沢山の仲間、頼りにして下さる利用者さんがいます。自分らしく、できる事から一歩ずつ進んでいこうと思います。新体制のケアサポートえんを、どうぞよろしくお願い致します!

(ケアサポートえん/西本由美子)

前任者から引き継いで9年。140名だった利用者は200名近くに増え、ヘルパーも50人を超える事業所に大きく成長しました。介護保険がスタートして20年目を迎えた今年、ケアサポートえんも次世代にバトンタッチすることになりました。子育て真っ最中の30代の時、訪問介護事業所開設の仲間に加えていただき、ヘルパーとして働き始めてからあっという間に過ぎてしまった24年。たくさんの仲間たちと共に笑い、喜び、時には涙を流すこともありました。感謝しかありません。これからも若い新管理者の元で“えんらしさ”を誇りに持ちながら、誰もが孤立することなく風通しの良い職場であって欲しいと思います。

(前管理者/岡田博美)



リンダ  
リンダ

## ～音楽ボランティアさんからのお便り～

金木犀の香る季節になりました。「えん」に集っていらっしゃる方々、お元気で過ごしてはいかがでしょうか？

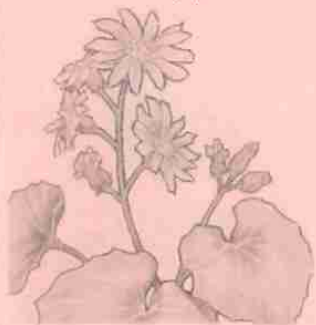
桜が散った後の雪に驚いている間もなく、世界中が怯える「コロナウィルスの襲来」で緊急事態宣言、重ねて酷暑、水害等にあたふたしているうちに秋を迎えてしまいました。コロナは未だ収束の気配が見えていません。感染が広がってきた3月以来、半年以上ご無沙汰している「えん」ですが、或る日デイホームえんの三輪さんからお電話を頂きました。咄嗟に私は「歌の会」の再開のお知らせかと期待の声を弾ませたのですが…。電話の内容は私の日常を気遣って下さるお尋ねと、「えん」に集う方々の近況をお知らせくださるものでした。その心遣いにコロナ禍に閉塞し鬱々としている生活に励ましをいただきました。「グループホームの皆さん、ご家族との面会を制限されて淋しそうですけれど 揃ってお元気でいらっしゃいます」とのお話を聞き安堵しました。同時に、あのチョット重たい玄関の引き戸を開けると、二階のリビングから聞こえる皆さんの話し声と、味噌汁の匂いが思い出されました。なにげなく過ごしていた日常がいかに尊いものであったのか、身にしみて感じています。

「小さい秋見つけた」「里の秋」「故郷の空」「旅愁」…、尽きることなく元気な美声を聞かせて下さる皆さんとの再会を切に願っています。事業所のご苦勞も「えん通信 No.65」からひしひしと伝わってまいります。世界中、異例づくめの事態が続いていますが、収束の日が来ることを信じて、お互い感染予防、健康維持に努めて参りましょう。自粛要請、三密規制など重苦しい生活の中で、中学生の詠んだ一首に励まされました。

『久しぶり 元気に会えるその日まで 単語覚えてじっと我慢だ』  
(愛知県蒲郡中学歌集『コロナに負けるな』より)

燦々と日の差すサンデッキで、お会いする日を焦らず待っています。

10月1日 音楽ボランティア 高橋 悦子



## 天竜川の鉄索（てっさく）

利用者さんの故郷の話を伺うのは介護の仕事の一部でもあり、私自身の楽しみでもあります。Mさん（99歳女性、長野県下伊那郡大島出身）は「昔のことはよく覚えてるんだけどねえ」と言いながらのお話は、こんな風でした。

Mさん…天竜川に近かったから、子供の頃、ゴザを持って行って両親と兄妹みんなで螢を見たよ。楽しかったねえ。

私…水がきれいなんでしょう！

Mさん…きれいだよ。きれいじゃないと螢はおらんでしょう。天竜川の川下りも有名で、一時間に一本ずつ船が出とる。船頭さん、西洋人みたいな変わった帽子を被っててねえ。あれは可笑しかった、ハハハ。川に「てっさく」があって、それが行ったり来たりするのが面白くて、子供の時は川に行っちゃ、ず～っと見てたよ。

「てっさく」って何?? 調べると「鉄索」=ケーブルに吊るした籠に荷物を積んで、山間部や川の上空を行き来させる昔の輸送手段と判明。昔の人は偉い、必要は発明の母。（ロープウェイをご想像ください）。今、国内には殆ど残っておらず、無論、天竜川の鉄索も今は昔。

他日、鉄索のことをまた尋ねると。

Mさん…籠は竹で編んだタライほどの大きさだったよ。ウチは果樹園があったからその中に父が朝、梨や林檎や桃を積んで向こう岸に運んできた。向こうが大鹿村で、そっちから空の籠が返ってくる。（鉄索の）線は2本あった。行きと帰り。

私…大鹿村って歌舞伎が有名なところ?

Mさん…村の人が分厚い衣装を着て、顔を真っ白に塗って歌舞伎芝居するよ。面白いよ。

Mさんの故郷の記憶は鮮明で、私にも鉄索の竹籠に山積みになった桃がゆらりゆらりと向こう岸に遠ざかって行くのが見えるようです。Mさん、また故郷の旅、ご一緒しましょう。これからもお元気で。

（グループホームえん／長谷川洋子）



絵／ケアサポートえん馬場敏美

## 認定NPO法人暮らしネット・えんへの寄付のお願いします！

税制上の特例措置により、個人は寄付金控除、法人は損金算入等が受けられます。相続財産の寄付も対象となります。

いただきました寄付は、職員の処遇改善、介護知識の普及、研修事業、だれでも食堂にいざ、みんなのコンサートなど文化事業等に充てさせていただきます。

### ◆今後の地域交流事業について◆

認知症カフェ、だれでも食堂にいざは  
2021年3月までお休みさせていただきます。

### ◆認知症電話相談のお知らせ◆

毎月第3水曜日 10時から16時まで  
認知症に関する知識や、受けられる介護サービス等の情報提供、悩みごと、認知症のある方に対する介護のコツや症状を踏まえた生活の工夫等々、お気軽にお電話ください。

TEL 048-480-4150

### ～ 職員大募集！！ ～

離職率が低いと評判の暮らしネット・えんで一緒に働いてみませんか？  
ヘルパー（訪問介護職員）・介護職員募集しています。  
資格がない方も資格取得のお手伝いをいたしますので、ご相談ください。

地域で暮らし続けていくために 2020年度新規・継続会員募集中！

正会員：1000円 賛助会員：3000円

※入会を希望される方は、事務局までご連絡ください。

郵便振替(00180-5-314344)



■ 編集・発行 認定NPO法人暮らしネット・えん

〒352-0033 埼玉県新座市石神2-1-4

電話：048-480-4150 FAX：048-201-1311

Eメール：npoenn@jcom.home.ne.jp

ホームページ：<https://npoenn.com/>